

受精卵移植でもっと増やそう 広島和牛！

広島県では比婆牛を始めとした広島和牛のブランド化を推進していますが、肉用牛の飼養戸数は減少傾向です。そこで、広島和牛の生産手段のひとつとして、乳用牛へ和牛の受精卵移植（ET）を推進しています。

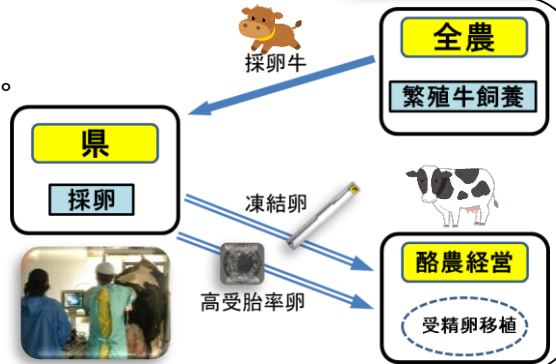


① 高品質な受精卵の供給

優秀繁殖雌牛を借上げ、体外受精卵を生産しています。また、新鮮卵（未凍結卵）を主体とした高受胎率受精卵の供給や、凍結卵の販売を行っています。

【令和3年度】

- ・供給個数
高受胎率受精卵：316個
凍結卵：246個

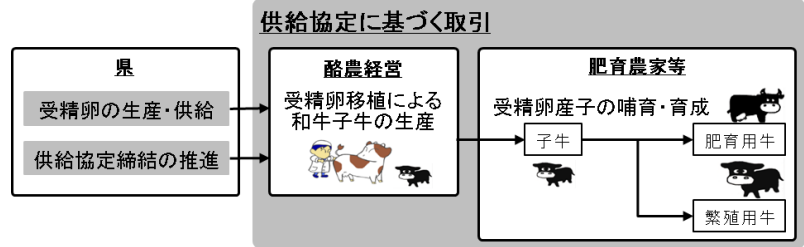


② 和牛ET産子の県内保留対策

酪農家と肥育農家等の間で和牛ET子牛を相対取引する協定（供給協定）の締結を推進しています。供給協定農家に対して、受精卵価格を値引きし、和牛ETの拡大と和牛ET子牛の県内保留につなげています。

【令和3年度】

- ・供給協定締結戸数：33戸
- ・供給協定関連ET頭数：526頭

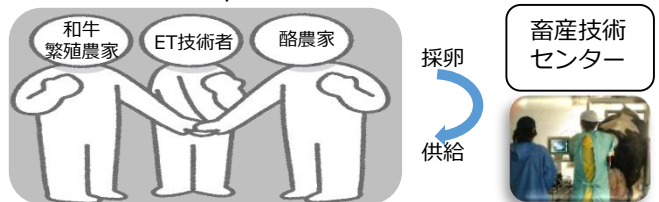


③ 和牛増頭に向けたETグループの取組支援

乳用牛へのETによって和牛増頭に取り組むグループに対して、依頼に基づき体外受精卵を生産、供給しています。

【令和3年度】

- ・採卵頭数：36頭（のべ13者）
- ・生産供給個数：373個



受精卵移植は定着が進み、供給協定による和牛子牛の県内保留も増加中

